

Governor's Monthly Letter

2016-2017 第2610地区活動方針「語り合おう ロータリー」

利賀村「鯉のぼり」

じいちゃん、はあちゃんの思いを乗せて…



青少年奉仕月間にちなんで

ロータリー章典では、「五大奉仕部門の青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである」と書かれています。その理念に沿って、第2610地区には青少年奉仕部門の中に、国際青少年交換委員会、ローターアクト委員会、インターアクト委員会があります。

国際青少年交換委員会では、今年度アメリカ、カナダ、オーストラリアへ11名の交換留学生を派遣し、アメリカ、カナダ、オーストラリアから10名の学生を受け入れています。委員会では派遣・受け入れにあたってオリエンテーションが複数回開催され、現地の文化や習慣を学び、留学生活がストレスなく送れるよう配慮しております。

ローターアクト委員会は提唱クラブ・会員数とも大幅に減少しております。2000年当時は、16クラブ・241名で構成されていましたが、現在は6クラブ77名にとどまり、さらにその内、半数のクラブは10名以下となっております。ロータリーでは環境の変化に対応すべく、柔軟性や自主性を活かした新たなクラブ運営に取り組んでいますが、ローターアクトにおいても提唱クラブと一緒に強靱な打開策を講じなければならないと思います。

インターアクト委員会では、地元の高等学校と連携し、石川県13校・富山県6校において、地域に根差した活発な奉仕活動が行われております。また3月には5日間にわたる台湾海外研修旅行が実施されました。参加した12名の高校生は、現地の学生たちとの交流を通して、異文化に触れ国際交流の大切さを学び、一回りも二回りも大きくなって帰ってきました。

また青少年を対象とする奉仕事業には、米山記念奨学会事業があります。今年度は東南アジアを中心とした18名の留学生に奨学金を支給しています。委員会では石川、富山の指定された大学からの推薦をもとに、事前の書類審査と2日間にわたる面接試験を実施し、奨学生を選考します。選ばれた奨学生には、それぞれ世話クラブや専任カウンセラーを配置し、カウンセラー研修会や奨学生の国内研修会を開催するなど熱心な活動が展開されています。また米山の活動に理解を深めていただくため、奨学生を各クラブの卓話に参加させて戴いております。さらに、卒業後は米山学友会が立ち上がり、日本との懸け橋となるべく活動を継続しており心強く感じています。皆様にはより一層のご寄付をお願いいたします。

公式訪問させていただいた折、各クラブの活動計画や実践記録と成果を詳しく報告を頂きました。それぞれのクラブで特色ある社会奉仕活動や青少年奉仕活動が実践されており大変心強く感じてはおりますが、青少年奉仕活動に関しては克服すべき課題も散見されます。現状に満足することなく、さらに活動が活性化するようご尽力いただくようお願い申し上げます。

ガバナー 岡部一輝

2017.5
vol. 11

Rotary International District 2610



人類に
奉仕する
ロータリー

会長エレクト研修セミナー報告

3月12日(日) 於:ゆのくに天祥

次期ガバナー月信担当副幹事

向出 剛一 (加賀RC)

去る3月12日(日)、加賀ロータリークラブがホストとなり、山代温泉「ゆのくに天祥」にて、会長エレクト研修セミナーが開催されました。当日は富山、石川の次期クラブ会長やパストガバナーなどの特別出席者を含め110名が出席し、次年度に向けた研修を行いました。

最初に下口ガバナーエレクトよりサンディエゴで開催された国際協議会の報告がありました。国際協議会で発表された、2017-2018年度RI会長(イアンH.S.ライズリー)のテーマ【ロータリー:変化をもたらす】について、次のように説明がありました。「私たちがロータリーを選んだのは、奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらせると信じているからです。私たちの活動が誰かの人生をより良くしているという充足感は、【変化をもたらす】ロータリーの一員であることから湧き出てくるものなのです。」

引き続き下口ガバナーエレクトより所信表明があり、【クラブのカラーを出そう】と地区へのメッセージを発信しました。昨年度、岡部ガバナーのメッセージ【語り合おうロータリー】を受けて地区内でロータリー活動について活発な議論が交わされましたが、様々な個性を持つクラブが、より一層輝くために、それぞれのカラーを大切にしてほしいと熱く語りました。また、変化を与えることのできるクラブは自らを変化させることに恐れてはいけないと、会員拡大とりわけ女性会員の拡大について訴えました。

研修セミナーでは炭谷亮一次期地区研修リーダーのあいさつの後、次期地区委員長より次年度の計画発表がありました。最後に柳生好春次期RLI研究会カウンセラーよりRLI(ロータリーリーダーシップ研究会)に関する講演をいただき、プログラムを終えました。

懇親会では、プロ歌手「絵利菜」さんの美声を堪能しながら、次年度に向けて大いに懇親を深めました。今後ともよろしくお願いいたします。



富山第1分区 IM報告

3月19日(日) 於:魚津商工会議所・ホテルグランミラージュ

IM実行委員長 川岸 芳雄 (魚津RC)

3月19日(日)、魚津RCのホストで魚津商工会議所とホテルグランミラージュで開催され、富山県東部8RC会員約100人が交流を深めることが出来ました。

野澤良成ガバナー補佐からの富山第1分区の現状報告に続いて、岡部一輝ガバナー、中田幸雄魚津RC会長、川岸芳雄IM実行委員長の挨拶、さらに、来賓の魚津市副市長・四万隆一様から祝辞を賜りました。

岡部ガバナーの地区活動方針「語り合おうロータリー」を旗印に、ホストクラブの「ロータリーと郷土愛」をテーマに加えたことにより、8クラブの新たな意見交換と相互交流を図ることが出来ました。

基調講演では、柳生好春パストガバナーから「ロータリー史の転換点に立って」と題してお話をいただき、「話しは忘れるが実践は残る」、「ロータリー例会は人生の道場」など貴重なアドバイスをいただきました。

また、魚津たてもん保存会会長海苔洋二、同じく会長相談役美谷喜代志の両氏から、「ユネスコ無形文化遺産・魚津のタテモン行事」と題して、講演をいただきました。

終わりに中尾哲雄パストガバナー(魚津市出身)からロータリーの観点から総評を頂き、大変有意義なインターシティ・ミーティングになりました。また、IM会場には魚津RCの近年活動記録パネル20点展示を行い、参加者から多くのご意見を頂きました。

懇親会はホテルグランミラージュに移し、オープニングとして富山県立魚津工業高等学校吹奏楽部(インターアクトクラブ)、うおぶスポラ・チアリーディクチーム(サンディーズ)の高度な演奏・演技があり、会場内の方々に「元気・勇気・笑顔」のパワーを届ける事が出来たと思います。



また、懇親会では魚津市長村椿晃様の挨拶、前ガバナー補佐平野明(黒部中央RC)の乾杯、次年度8RC会長とガバナー補佐佐渡栄寿(朝日RC)の決意表明に、会場内から大声援が飛び交う、まさしく「語り合おう ロータリー」となりました。

ここで、改めて8クラブを代表して関係機関及び参加者に感謝を申し上げます。

● 富山県立魚津工業高等学校インターアクトクラブの紹介 ●

昭和42年6月、国際理解、親善及び平和の推進を図るため、魚津RCをスポンサークラブとして設置。特に奉仕活動が活発で、「歳末助け合い募金活動」は31年間続けています。

石川第2分区 IM報告

3月5日(日) 於:山代温泉「ゆのくに天祥」

3月5日(日)、春の訪れを告げるような晴れ渡る晴天のもとで、石川第2分区の都市連合会が加賀RCのホストによって山代温泉「ゆのくに天祥」で開催されました。午後1時30分に堀井ガバナー補佐の点鐘にて始まった式典は、岡部一輝ガバナーのもと、菊知龍雄、湯浅外志男、両パストガバナーと澤田地区幹事の特別出席を得て、総勢200人以上の参加を得て、今年度の「語り合おうロータリー」を合言葉に交流を深めました。

基調講演には、タイ国チェンライRCの原田義之氏を迎え、「輝く瞳に会いに行こう」という演題で、氏のタイ国での様々なボランティアを通して国際奉仕活動の原点を語っていただきました。その後、地区国際奉仕委員長の松本耕作氏をコーディネータとして、分区内8クラブの代表によるパネルディスカッションを行い、これからのロータリーの国際奉仕活動についておおいに語り合うことで、今後の活動の指針を窺い知る機会とすることができたと思います。

懇親会では、着席によりゆっくりと懇親を深めながら、それぞれのロータリーについて語り合うことで、まさに語り合い三昧の一日とすることができました。アトラクションには大谷高校チアリーディング部の若々しい演技に元気づけられながら、来年度へ向けての新たなスタートが切れたと思います。次年度は小松シティクラブのホストということで、本当に楽しみにしています。



石川第1分区 A,B IM報告

3月26日(日) 於:ホテル日航金沢

石川第1分区A,Bの地区研修会は3月26日(日曜日)午後1時30分から夕刻にかけてJR金沢駅前、ホテル日航金沢で分区内の会員150名が参加して行われた。

地区からは岡部一輝ガバナー、中尾哲雄研修リーダー、澤田喜朗幹事の御臨席を得、分区内から中川可能作、炭谷亮二の両パストガバナーのご出席を得て熱心な語り合いの時間がもたれた。

岡部一輝ガバナーの年度テーマ「語り合おうロータリー」に呼応して計画された研修会は「話尽山雲海月情」(出典・碧巖録)をテーマにロータリーを機縁として結ばれた親しい者同士が忌憚なく心の内を語り尽くし、真摯に相手の言葉を聴くことを目指して行われた。

研修会は3部構成で進行し第1部開会式、第2部テーブル・ディスカッションと講評、第3部懇談・懇親会と和やかな中に真剣な時間が持たれた。テーブル・ディスカッションでは選択されたテーマごとに13のテーブルに分かれ熱心な語り合いがもたれテーブル・テーマごとの報告に続いて中尾哲雄研修リーダーによる講評が行われた。

今回の研修会は分区内13クラブの総合協力による御神輿方式、各自が持ち寄り負担し合う持ち寄り、手弁当方式で一貫して簡潔な運営方針が貫かれたが、懇親会ではソプラノ歌手幅田真理子、ピアニスト酒井珠江両氏による楽しい音楽のひと時や開会、閉会時には岡部一輝ガバナーによる銅鑼による点鐘が話題を呼んだ。



インターアクト海外研修旅行報告

南砺福光高等学校 伊藤 菜白

今回の研修旅行前に私が抱いていた台湾の印象は、どこの文化なのだろう、という疑問でした。私の中で、台湾の文化はどの様なものかとても興味がありました。今回の研修では、台份、台北の町、士林夜市、故宮博物院、康橋雙語學校、101タワー、鳥山頭ダム資料館へ行きました。九份では、ジブリ作品「千と千尋の神隠し」の舞台というだけあり、屋台や赤い提灯がたくさんありました。さらに、湯婆婆の屋敷のモデルとなったお茶屋さんや、湯婆婆のモデルになった方もいらっしゃいました。まるで映画の世界のようでした。

康橋雙語學校では、日本の高校3年生と同じ年の学生と交流しました。バイリンガルスクールということもあり、英語や日本語の能力が高いと感じました。私は日本との教育の違いが気になり、英語をどのように勉強しているのか聞いてみました。すると、学校での授業数から全然違うことが分かりました。私たちの学校では、英語を中心とする国際科でも7時間に対し、康橋雙語學校では週に10時間の授業があるといいます。台湾は英語の教育に力を入れているのだということが分かりました。さらに、私はどうして日本語を勉強しているのかを聞きました。すると、日本語はおもしろくて便利だと言っていました。私は驚きました。日本語が便利という考えが分からなかったからです。よく聞くと、彼女達は日本へ来たいと願う人が多いと分かりました。台湾でも日本が愛されていると知ってうれしくなりました。

今回ずっと一緒に行動をしたバスガイドの張さんは、台湾について、外では北京語、家では台湾語を話していると教えてくれました。また、パスポートの表記が中華民国であること、台湾人と海外で胸を張って言えないことにもどかしさを感じていると話してくれました。私は、独自の文化も言語もあるのに1つの国として世界に認められないのは、大きな一つの魅力を見て見ぬふりをしている様でもったいないと感じました。

今回の研修では、台湾の人と文化にたくさん触れることができ、私の将来の夢や今まで学んできたことに対してとても良い刺激になりました。台湾の学生たちを見ると、私はできることをまだまだできていないなと思いました。台湾から見た日本を今回たくさん見て、聞いて、学ぶことができたので、これからも愛される国であるために今、自分ができることを考えて実行していきたいです。台湾は、あたたかい人とすてきな文化があふれていて、私は台湾が大好きになりました。



南砺福光高等学校 扇谷 夏鈴

私が海外研修に行きたいと思った理由は、日頃から他の国の人々の考え方を学びたいと思っていて、研修の話を知ってこれはチャンスだと思ったからです。

実際に台湾に行ってみると、自分が思っていたよりも日本と似ているところが多く、日本と同じ商品が同じ店舗で売られていたりしたことにとっても驚きました。商品名が日本語のままだったりするものがあったりして、台湾人たちはこれを読めているのかと不安になったりしました。味は変わらなかったです。台湾新幹線に乗る機会もあり、日本の新幹線とほぼ変わらない構造になっていて驚きました。

現地の大學生と出かける時間では、念願のマンゴーかき氷を食べることができて嬉しかったです。思っていたよりもたくさんフルーツがのっていて量もありました。日本ではあまり見ないので驚きました。

また、現地の高校生と交流する機会では、一緒に台湾の郷土料理を作ったり、私の班では一緒にあやとりをしたり、予想よりもはるかに優しく思いやりがすばらしい方々がたくさんで、今も連絡先を交換して英語で話しています。高校生ではほとんど体験できないことなので恵まれているなと思いました。

今回の研修を通して、世界はとても広くて、様々な考え方や思いを抱いて今を生きている人がたくさんいることを知りました。また、台湾の方々にネイティブの英語を使う人はほ



とんど見かけなかったもので、私たち学生にとっては話しやすいと感じました。しかし、確実に私の英語の語彙力不足で、思うように話すことができませんでした。今後の課題として、これからも勉学に励み、交流した人々と再会できるように努力したいです。

交換受け入れ学生研修旅行

2610地区国際青少年交換委員会
委員 吉田 愛一郎(射水RC)

去る3月25日(土)より28日(火)までの4日間当地区で受け入れております留学生の修学旅行を引率しました。留学生はアメリカ・カナダ・オーストラリアの3カ国よりの男女9名(15歳~18歳)をJTBの添乗員1名と私の妻にお願いして同行してもらいました。

初日は富山駅より7時半に集合して新高岡駅と金沢駅にて合流し広島へと向かいました。

旅行の行程は厳島神社~広島平和記念資料館~原爆ドーム~姫路城~大阪城~USJ~大阪アメリカ村と観光地盛りだくさんでした。

車中では留学生の大きな声や笑い声で他のお客様の迷惑にならないかと思ったほど皆元気でしたが、幸い車列の一番奥のシートでしたので他のお客様に迷惑が掛かることはありませんでした。一日中ずっと歩きっぱなしの喋りっぱなしで疲れないかと思うくらいでしたが、一番エネルギーが満ちている年齢ですので一眠りするとケロッとしていました。

広島平和記念資料館を訪れた際に、原爆による広島市民の遭われた惨状を伝える人形や写真や弁当箱や三輪車や衣服に、皆さん真剣な表情で見入っていたのが一番印象に残りました。記念館を出たところのベンチでうなだれているアメリカからの留学生に声を掛けたところ、日本語で「原爆が投下された事実は知っているが、投下された原爆の下に一般の方々が生活して居るという事は知らなかった・・・TVとかで映像を見て知っているつもりだったが、イメージしたのと全然違っていた・・・国に帰って皆に知らせたい・・・」と涙を流しながら話している姿を目の当たりにしてこちらも思わず胸が熱くなり、これこそが国際ロータリークラブの世界平和に通じるプログラムの目的の一つなのだと実感しました。

最後に別れ際のサンダーバードの中で留学生の皆さんから私達夫婦に一人ひとりのお礼のコメントが書いてあるメッセージカードをサプライズでプレゼントしていただきました。感激しながら一人一人にお礼と感謝の言葉を伝え帰路に着きました。皆さんのお陰で気遣いが嬉しい引率になりました。ありがとうございます。感謝します。



文庫通信

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

《講演他》

(355号)

◎「日本の出番、祖国は甦る」 (D.2680 地区大会記録誌)	青山 繁晴	2016	1p
◎「世界の中の日本」 (第44回ロータリー研究会報告書)	五百旗頭 真	2016	9p
◎「日本のこころ」(D.2660地区大会記録書)	松長 有慶	2015	7p
◎「職業奉仕の今日的課題と永続企業」 (D.2580 地区大会記念誌)	パネラー：前川洋一郎・山本崇人・中川雅雄	2016	6p
◎「21世紀をどう生きるか」 (D.2670・D.2680 第38回RYLA 報告書)	安平 和彦	2016	15p
◎「現代家族の課題」 (D.2670・D.2680 第38回RYLA 報告書)	白石 大介	2016	12p
◎「ダウン症の娘と共に生きて」 (D.2690 地区大会記念誌)	金澤 泰子	2017	6p
◎「夢に向かって」 (D.2750 第36回インターアクト年次大会報告書)	根木 慎志	2016	7p
◎「若者の未来のためにできること」 (D.2660 地区大会記録書)	養老 孟司	2015	11p
◎「父が見つけてくれたもの」 (奉仕のともしびを高く掲げて)	小林 真	2011	6p

[上記申込先：ロータリー文庫]

【ロータリー文庫】〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 [閉館] 午前10時~午後5時 [休館] 土・日・祝祭日
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

例会出席報告 (3月分)

2017年3月末日現在

分区	クラブ名	出席率 (%)	当月順位	通算出席率 (%)	通算順位	会員数 (人)			分区	クラブ名	出席率 (%)	当月順位	通算出席率 (%)	通算順位	会員数 (人)			
						期初	月末	増減							期初	月末	増減	
石川第1分区A	河 北	77.64	46	83.36	30	24	27	3	富山第1分区	朝 日	68.33	59	68.61	60	25	24	-1	
	河 北 南	69.70	58	76.35	51	16	22	6		黒 部	72.54	55	71.91	58	15	17	2	
	金 沢	90.49	13	90.15	10	112	116	4		黒部中央	74.28	52	77.43	47	20	21	1	
	金 沢 東	87.70	20	87.02	21	98	103	5		滑 川	100.00	1	80.09	40	5	2	-3	
	金沢香林坊	75.35	49	80.52	38	111	112	1		入 善	83.33	30	75.33	54	9	6	-3	
	金 沢 南	91.52	12	92.55	6	55	58	3		宇 奈 月	63.16	62	63.35	64	19	19	0	
	6 R C	82.07	5	84.99	3	416	438	22		魚 津	87.33	22	82.04	36	32	33	1	
石川第1分区B	白 山	81.42	34	77.38	48	33	36	3	魚 津 西	66.06	61	72.40	56	30	29	-1		
	白山石川	86.45	23	83.18	32	33	34	1	8 R C	76.88	9	73.90	9	155	151	-4		
	金沢百万石	60.57	63	63.81	63	46	47	1	富山第2分区	越中八尾	98.18	5	98.23	3	21	22	1	
	金 沢 北	75.00	50	76.86	49	47	50	3		上 市	81.25	36	80.38	39	21	20	-1	
	金沢みなと	85.50	27	83.26	31	41	44	3		立 山	78.43	44	66.33	61	17	17	0	
	金 沢 西	89.61	18	89.73	14	50	52	2		富 山	77.06	48	78.08	44	95	95	0	
	野々市	85.06	28	86.94	22	40	40	0		富山シティー	59.49	64	62.35	65	78	79	1	
	7 R C	80.52	7	80.17	7	290	303	13		富 山 南	74.71	51	74.18	55	58	59	1	
石川第2分区	加 賀	90.20	15	90.11	11	49	52	3		富山みらい	77.16	47	77.93	45	80	81	1	
	加賀中央	95.16	7	89.82	13	33	34	1		富 山 中	81.02	38	82.01	37	59	61	2	
	加賀白山	90.19	16	86.70	23	29	32	3	富 山 西	94.55	8	95.76	5	63	61	-2		
	小 松	79.41	42	78.81	43	57	56	-1	富山大手町	78.47	43	76.73	50	48	51	3		
	小 松 東	86.36	24	82.33	35	33	34	1	10 R C	80.03	8	79.20	8	540	546	6		
	小松シィ	82.83	32	82.88	33	30	32	2	富山第3分区	射 水	87.70	20	90.04	12	28	30	2	
	能 美	90.18	17	87.10	20	57	57	0		東となみ	73.21	54	79.84	41	20	21	1	
	山 中	84.20	29	78.90	42	20	19	-1		新 湊	83.03	31	85.21	26	43	43	0	
8 R C	87.32	1	84.58	5	308	316	8	新湊中央		66.67	60	71.66	59	15	14	-1		
羽 咋	89.42	19	88.22	18	27	26	-1	高 岡		100.00	1	100.00	1	68	74	6		
中能登まほろば	81.25	36	77.82	46	18	16	-2	高岡万葉		98.55	4	98.15	4	75	76	1		
中 島	80.55	39	87.41	19	9	10	1	砺 波		92.27	9	90.43	9	49	51	2		
七 尾	72.44	56	72.34	57	51	51	0	7 R C		85.92	2	87.90	1	298	309	11		
石川第3分区	七尾みなと	92.08	10	88.79	16	45	49	4	富山第4分区	氷 見	80.23	41	84.26	27	41	43	2	
	志 賀	73.69	53	82.38	34	19	18	-1		氷見中央	51.92	65	65.56	62	13	13	0	
	富 来	81.26	35	75.97	53	15	16	1		南 砺	90.38	14	89.28	15	52	52	0	
	7 R C	81.53	6	81.85	6	184	186	2		小 矢 部	85.73	26	88.79	17	38	39	1	
	石川第4分区	穴 水	86.36	24	86.09	24	14	14		0	小 矢 部 中	91.91	11	92.32	7	43	42	-1
		能 都	82.78	33	85.99	25	37	37		0	高 岡 北	80.33	40	83.77	28	42	42	0
		珠 洲	78.13	45	83.76	29	27	24		-3	高 岡 西	100.00	1	100.00	1	61	57	-4
内 浦		71.97	57	76.20	52	16	16	0	7 R C	82.93	4	86.28	2	290	288	-2		
輪 島		96.67	6	91.16	8	31	30	-1	65RC合計	82.26		82.61		2,606	2,658	52		
5 R C		83.18	3	84.64	4	125	121	-4										

3月

R財団・米山記念奨学会 寄付者

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

上田 一治 3月 9日 野々市 1回

米山功労者 メジャードナー

新家 久司 3月21日 金 沢 12回

米山功労者 マルチプル

松木 延夫 2月15日 氷 見 2回

米山特別寄付

株式会社大同 山口 武 野々市 3月17日

会員異動 (入会・退会)

◆入 会◆

安達 哲郎 3月 8日 河 北
中野 敦彦 3月 3日 金 沢 西
杉藤 隆志 3月 7日 七尾みなと

今井 徹 3月 7日 七尾みなと
佐味 一郎 3月 7日 七尾みなと
鳥居 照子 3月15日 富 山 中

◆退 会◆

阿閉 久義 3月 1日 金 沢
陸谷 泰秀 3月 8日 金 沢
村田 誠治 3月17日 金 沢
石井 祐司 3月15日 金 沢
中島 淳一 3月27日 金 沢 東
星 和浩 3月31日 金 沢 東
新納 時直 3月31日(転勤の為) 金 沢 西
村口 幸久 3月31日(転勤の為) 金 沢 西
三本松 温賀 3月31日(転勤の為) 加 賀
川腰 栄一 3月31日 小 松
西田 章 3月21日(転勤の為) 小松東
二木 重弘 3月31日(一身上の都合) 小松シティ
白井 孝典 3月31日(転勤の為) 志 賀
新里 正道 3月31日 富 山
新田 一郎 3月31日 富 山

小田 哲也 3月31日 富 山
鵜殿 裕 3月31日 富 山
小西 孝久 3月31日(転勤の為) 富山西
福田 順一 3月31日(転勤の為) 富山西
岸上 淳司 3月31日(転勤の為) 砺 波
多田 隆保 3月30日(転勤の為) 高岡西
小川 誠之 3月30日(一身上の都合) 高岡西

ご冥福をお祈り致します



山上 信次郎(輪島)

3月26日(享年75歳)
御山上石油 代表取締役
ロータリー在籍40年
第33代会長



近藤 俊行(入善)

3月 2日(享年71歳)
近藤歯科クリニック
ロータリー在籍29年
2004~05年度ガバナー

米山梅吉記念館便り

シリーズ ⑨ 米山梅吉の横顔

米山梅吉の青山学院への奉仕は大正5年頃には既に見られますが、何と言っても青山学院初等科の創立で、米山の、整備拡充よりも初等教育の充実を重視する教育論の実践でした。昭和12年に竣工した校舎は全額私財を投じて建設されたもので一切の寄付は仰ぎませんでした。学院が直営の予定でしたが許可が難航し、青山学院小学財団を



青山学院緑岡初等学校正門と校舎

設立、同財団立「緑岡小学校」として発足しました。男女25名づつが入学し、初代校長は米山でした。経営方針は7条あって、「学校後援会、保護者会等の支援団体は認めない」「児童の教育は学校の手によって行う。学校を信じて委されたい」「人にされて嬉しかったことを人にもせよ」等でした。



記念館の月桂樹前にポール・ハリス植樹レリーフを設置
昭和10年来日折、ポール・ハリスが月桂樹を帝国ホテル前庭にお手植えし、記念館にはその2世が植えられています。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町土土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email: yumh@ai.tnc.ne.jp
【開館時間】午前10時～午後4時
【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



米山梅吉関連図書の紹介



B5判 記念館35周年記念誌
本文268ページ/2,500円

米山梅吉の聲音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。
資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録・年表など網羅されています。

5月行事予定表 〈青少年奉仕月間〉

13日(土)	第4回 社会奉仕委員会	石川県地場産業振興センター
13日(土)・14日(日)	国際青少年受け入れ交換学生ロータリー・ウイークエンド	立山登山
21日(日)	新湊中央RC25周年	
27日(土)	職業奉仕委員会	
28日(日)	能都RC50周年	



国際ロータリー 会員基盤向上セミナー

3月27日、28日「国際ロータリー 第1・第2・第3ゾーン国際ロータリー会員基盤向上セミナー」が東京で行われました。2日目のプログラム「ロータリー財団を活用した奉仕活動の更なる発展の為に」において岡部ガバナーが「ロータリー財団 祝う気持ちを形に変えてニコBOX」という演題で年次基金寄付ゼロクラブ解消について約20分間実践報告を行いました。

ロータリー財団の100周年を2610地区全てのロータリーメンバーと一緒に祝いするためにニコBOXへの寄付をPETSや公式訪問等を通じて呼びかけたことをメンバーへの感謝の気持ちと共に紹介されました。

竹腰第2ゾーンロータリー財団地域コーディネーターから昨年10月での早期の全てのクラブからの寄付達成の謝意が伝えられ、温かい拍手につつまれ報告は終了しました。



編集後記

今回はインターアクト海外研修に参加された、福光高校国際科の二人に原稿を依頼したとろ、高校生らしい素直な感想文を書いていただきました。二人とも異文化の体験と台湾人との交流で貴重な経験を積んだようです。もっと勉強して国際人として羽ばたいてください。

筆者的には地元でマンゴーかき氷屋さんがあると嬉しいんですが……。

月信担当地区副幹事 久 恵 龍 三



《表紙写真解説》「鯉のぼり」 利賀村

限界集落と呼ばれて久しい南砺市利賀村。村では現在十の地区で五月三・四・五日に春祭りが行われ、それぞれ特徴のある獅子舞が披露される。住民だけで獅子舞を存続させることのできない地区もあり、学生ボランティアや、里帰りの子や孫たちによって伝統は守られている。祭り前には孫たちの里帰りを待ちわびた「じいちゃん、ばあちゃん」たちの思いを乗せて鯉のぼりが飾られる。

○写真提供：三吉外男会員(南砺RC写真同好会)



国際ロータリー第2610地区

2016-2017年度 **ガバナー事務所**

〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4

南砺市福光会館 2F

TEL: 0763-58-5610 FAX: 0763-58-5611

E-mail: okabe16-17@rotary2610.com